

会 議 記 録			
会 議 の 名 称	広報広聴特別委員会		会議場所 第3委員会室 担当職員 三宅、池永
日 時	平成23年12月2日(金曜日)		開 議 午前 10 時 分
			閉 議 午前 12 時 05 分
出席委員	◎木曾 ○苗村 山本 井上 福井 菱田 西村 明田		
事務局出席者	今西局長、藤村次長、阿久根係長、三宅、池永		
傍聴者	市民 名	報道関係者 一名	

## 会 議 の 概 要

### 1 開 議

[木曾委員長 あいさつ]

### 2 議 事

(1) 議会だより No.151 (12月定例会号) の掲載事項について

<木曾委員長>

編集に入る前に、今後の課題について協議したい。議会だよりのタイトルについて変えてみてはどうかという意見があり、来年度から変更する方向としている。No.150号ではタイトルのイラストを変え、良くなってきたと感じているが、このタイトルのネーミングを含めて、今後の方向性を考えたい。ご意見を。

<井上委員>

今回の議会だよりの表紙の変更については評判がよかった。タイトルのネーミングについては変えるべきかどうか考えがまとまっていないが、市民に親しみやすいネーミングについて、会派での検討、市民公募も一考すべき。

<山本委員>

議会だよりであるので、まずは議員で考えるべき。ネーミングについて変更の可否を一度会派で考え、議会として変えるとなったら、市民公募を考えてはどうか。

<西村委員>

各会派にもちかえりたい。

<菱田委員>

山本委員の意見に賛同する。

<明田委員>

本委員会で公募してはどうか。

<苗村副委員長>

今回変更したところでありもう少し定着した段階でという思いがあるが、会派で検討したい。

<木曾委員長>

手順としては、広報広聴特別委員会としては変更する方向で各会派の意見を集約したい。各委員は21日までに会派の意見を取りまとめ願う。今回発行の議会だよりの中で市民公募を掲載する必要性もあるので、次回の委員会で意見の報告を願う。

<了>

<井上委員>

会派に属さない議員の取り扱いは。

<木曾委員長>

会派と同様、意見の報告を願う。

(ア) 全戸配布日

・ 2月1日(水)(ただし、発行日は1月31日)

(イ) 編集内容について

- ・ レイアウト、掲載項目の協議
- ・ 一般質問原稿の執筆依頼

<木曾委員長>

臨時会の掲載については、臨時号を発行せず、12月定例会号のNo.151号で掲載したい。<了>

<井上委員>

ページ数は増やせるのか。

<木曾委員長>

ページ数は12ページのままとする。誌面の割り振りについては、まずは正副委員長に一任いただき印刷業者と調整し、次回の委員会で提案したい。<了>

<木曾委員長>

一般質問原稿の締め切りは閉会日の21日としたい。<了>

<菱田委員>

臨時会での緊急質問については、個人質問のように掲載するか。

<木曾委員長>

誌面の割り振りの関係上、ここでは保留する。ただ緊急質問は今回初めてのことであり、大々的に掲載したい。

<井上委員>

過去においても、南丹高校と水道関係のことで緊急質問はあったと聞いている。問題がないか確認を。

<木曾委員長>

事務局で確認願う。では、順にページごとに見直すべき箇所、掲載項目の確認をしていく。

[1 P]

<了> (トップ写真については後で協議)

[2~3 P]

<木曾委員長>

臨時会の内容についてはこのページに掲載し、臨時会及び12月定例会の主な討論、決議、議決結果などを割り振って掲載したい。議決結果の掲載については臨時会と定例会を別々に掲載するよりも、一覧として掲載するほうがよいと思われるかどうか。<了>

<苗村副委員長>

基本的には一覧として掲載する方向であることを確認したが、定例会の内容がどうなるかわからないため、レイアウト調整は正副委員長に一任いただくことを了解願う。<了>

[4 P]

<木曾委員長>

常任委員会の審査報告について、総務文教常任委員会で審査した内容には臨時会の付託議案が含まれるが、臨時会の審査内容をどのように掲載するか。

<菱田委員>

このページでは定例会の審査内容を掲載すべきであることから、臨時会に係る内容は、2ページにまとめて掲載すべき。

<西村委員>

2ページに収まるならそこに掲載したほうがよいと考える。

<木曾委員長>

レイアウトの都合上、2ページに掲載できるかわからないが、基本的には4ページには定例会に係る委員会審査内容を掲載することとする。<了>

[5 P]

<木曾委員長>

前は決算特別委員会、請願の内容を掲載したが、今回どうするか。

<事務局>

前々回では、常任委員会の審査報告として、請願審査も含めて2ページにわたって掲載した。

<苗村副委員長>

今回も同様に4・5ページで請願審査を含めた常任委員会の審査内容を全体的に掲載してはどうか。

<西村委員>

ページの余白があるようなら請願審査よりも昨日の全員協議会で報告をうけた本市の財政状況を掲載してはどうか。

<井上委員>

市民の関心があるので、掲載できればよいが、誌面の都合による。

<苗村副委員長>

前回のよう決算審査の中で掲載するのならよいが、今回は報告であり、議案として審議した内容ではないものをここに掲載するのは疑問がある。

<明田委員>

報告として受けたものの一部だけ掲載するのは如何なものか。

<菱田委員>

財政状況は議会として審議していない。請願は市民の政策提言と位置づけているものであり、審議過程を含めて掲載すべき。

<西村委員>

そういうことであるなら取り下げる。

<福井委員>

財政状況は難しく、掲載してもなかなか理解してもらえにくい。今後、増ページにより財政特集というページをつくれるのであれば、そこでわかりやすく掲載してみてもどうか。

<木曾委員長>

増ページが実現されれば検討する。財政状況については今回掲載しないが、こういう報告を議会が受けていることをどこかに掲載したい。

[6～10 P]

<事務局>

前は、代表質問2項目500字、個人質問2項目以内200字である。なお、今回は、前回よりも個人質問を行う議員が1名少なくなっている。<了>

[11～12P]

<木曾委員長>

11月10日の議員研修を掲載したい。研修を受けた感想を本委員会の委員で執筆願いたい。福井委員どうか。

<福井委員>

了

<木曾委員長>

委員の執筆については、今後、順に回していく。今回は福井委員にお世話になる。

<井上委員>

委員会の会議資料などをPDFで公開していることから、情報公開に取り組んでいることについても、掲載してはどうか。

<木曾委員長>

特別委員会の視察内容なども掲載できればと思う。

<苗村副委員長>

今回号は、先日開催した議会報告会の内容を掲載する必要があるため、スペースがとれないと思われる。

<西村委員>

タイトルについても公募する場合はスペースが必要。

<苗村副委員長>

12ページに議会報告会の内容とタイトル公募を掲載する場合は、市民の声（「本会議を傍聴して」）は11ページに掲載することとなる。

<山本委員>

市民の声はこれまでどおり最終ページで顔写真はカラーで掲載すべき。

<苗村副委員長>

前々回号は議会報告会の報告を12ページで掲載したため、市民の声は11ページに掲載した。必ずしも毎回カラーであるわけではなく、その時々の方針の状況で判断すればよいのでは。

<木曾委員長>

会派の公平を期すためにも公明党議員団からの要望としてあげることはできる。

<菱田委員>

市民の声については、市民参加の誌面づくりを第一とするため、12ページに掲載すべき。議会報告会の実施内容は11ページでもよいと考える。

<苗村副委員長>

市民の声を12ページに掲載することを確認できれば、あとは誌面の割り振りについて、正副委員長に一任願いたい。

<木曾委員長>

市民の声は12ページに掲載し、タイトルのネーミングの公募も掲載する場合は12ページに掲載する。編集後記については、今回、苗村副委員長にお願いする。以上の方向性でよいか。<了>

(ウ) 議会だより編集日程(案)について

- ・ 12月21日(火) <定例会閉会后>  
(レイアウト、掲載記事の協議)  
一般質問の原稿〆切
- ・ 12月27日(火) 10時

(文章・レイアウト表・写真の確認)

・ 1月16日(月) 13時30分

(ゲラ版の校正) ※1月23日(月) 校了

<事務局>

トップ写真については、次回の委員会で協議する予定であるが、意見、提案などあればこの場でも協議を。

<井上委員>

人物の写真がよい。元旦ロードレースはどうか。

<福井委員>

国文祭を提案する。

<菱田委員>

梅岩まつりを提案する。かめまるとしんがくと並んだ写真がよい。

<木曾委員長>

国文祭はNo.150号のくじ取り式とイメージが重なる。

<井上委員>

かめまるとしんがくんととのツーショット写真はないのでは。

<西村委員>

元旦ロードレースがよい。

<明田委員>

田園風景、コスモス園がよい。

<木曾委員長>

発行時の季節には合わないため如何なものか。またこれまで元旦ロードレース、消防出初式は議会だより表紙に頻繁に掲載している。

<井上委員>

成人式はどうか。

<苗村副委員長>

新春の発行であるので、亀岡らしい風景がよい。

<井上副委員長>

パラグライダーで上空から見下ろした写真など手に入ればよいが。

<木曾委員長>

雲海の写真などもよい。どこかで手に入らないか。PR名刺などの写真から抽出してもよい。写真を集めていきたい。元旦ロードレースとする場合は、井上委員にカメラ班として撮影願いたい。<了>

<福井委員>

経済同友会からマスコットキャラクター「しんがくん」を議会だよりに多用してほしい意向を聞いているので、使えるところがあれば掲載したい。

<木曾委員長>

今後、トップ写真も含めて検討する。

～11:20

(2) 議会報告会(11月18日開催)について

(ア) 実施報告、アンケート結果

<菱田委員>

ー「実施報告」「参加者アンケート集計」資料に基づき説明ー

- ・古世では、質疑を打ち切らず、終わって良いかを諮った方が良かった。
- ・集客には各議員からの周知も大事。
- ・「分かりやすさ」向上は今後の検討課題。
- ・地元議員の参加の要望もある。
- ・地元をどれだけ理解しているかという話があった。検討課題である。

(イ) 意見・要望等と回答

<菱田委員>

会場でいただいた意見は所管の常任委員会で議論いただく。

<木曾委員長>

人数は増えている。各会場に他市の議員も来ていた。終わってから取材し、感想を聞くのも良いのでは。

(ウ) 広報広聴特別委員会所管分の意見の取り扱い

<木曾委員長>

広報広聴所管分の取り扱いについて協議する。

(アンケート問5)

項目1：質疑応答にはある程度時間を取るべき。回数は今後の課題とし、一巡してから考える。

項目2：地元の課題にポイントを絞って意見交換という趣旨だと考える。広報広聴だけで結論を出せないなので、全協で取りまとめをしたい。

項目3：あくまでも議会「報告」であるので難しい。

項目4：地元議員をなぜ呼ばないかということに繋がる。次回からの課題とする。

項目5：だよりで知らせているが、受け止め方が違ったのかもしれない。見せ方の工夫が必要。

項目6～7：今後、時間は柔軟にすべき。次のグループ分けの全協で協議いただく。

項目8：一巡してから考える。各会場でもそう伝えるべき。

<木曾委員長>

これらについて何か意見はあるか。

(エ) 報告会総括

<福井委員>

古世では質疑で「他にございますか」と言わず「時間なので終わります」と終わってしまった。司会が報告会の意図を理解していることが必要。また、報告会の趣旨を趣旨説明でしっかり説明できていないから地元議員を入れろということになる。

<苗村副委員長>

全協で、誰でも司会ができるようにしておくべき。個人の問題ではない。事前の意思確認が大事。

<井上委員>

地元課題を解決してもらえる会と認識されている部分がある。報告会の趣旨に共通認識が必要。

<木曾委員長>

議会基本条例での報告会のあり方はどうであったか。

<菱田委員>

議会の活動を知ってもらうと同時に、市民と接する一番の機会であり、広聴をしつかり行う場である。地元の議員が行くと「前からこう言っているのに」という話になり、地元議員と地元との話の場となってしまう。そうではなく、地域こん談会で何回言っても聞いてもらえないことを議会として宿題をもらい、違う目線で議論ができる。それを積み重ねていく中で、地元議員を入れた方がやりやすいということになれば入れても良いが、うまくいかない場合、地元議員ばかりが攻撃対象になるのを懸念する。

<木曾委員長>

趣旨説明のとりまとめをし、3会場で意思統一したものができるように工夫しなければならない。「市民と語る会」である以上は、意見を聞いて受け止める必要がある。理事者でないのに「やります」と答えた会場もあり、議員の立場でどこまで答えられるかの意識統一も必要。全協で時間を取り、議論する必要がある。

<井上委員>

「地元について議会はどう考えているのか」と聞かれた時はどう答えれば良いのか。

<木曾委員長>

地元要望は地元しか分からないところもある。地元には色々な課題があるなら、請願を通して行政に伝えたり、方向付けをしたりする手段があることを知らせることが必要。意見書や請願や要望など色々なツールがある。今後、統一してそのような答え方をしていくべきだと考える。

<福井委員>

趣旨説明と司会は、広報広聴の委員で当面は行うべきでは。

<木曾委員長>

次回の試みとして、司会と趣旨説明はできるだけ広報広聴で行うようにしたい。

<山本委員>

司会をする人に趣旨をきちんと伝えておけば違った。想いを一つにしてやるべきである。

<井上委員>

参加者には同じことを何回も主張する人もいる。上手に仕切る能力が必要。

<木曾委員長>

今回は1時間を守るという意識が強かった。しかし、会場の雰囲気によって幅を持たせて判断する必要がある。今回の報告会の写真は怎么样了か。

<事務局>

大井会場からまだ提出がない。確認する。

<木曾委員長>

次回の会議で審議する。

<事務局>

古世の2番目の「自然エネルギー」について、所管は「環境厚生」ではなく「産業建設」でどうか。

<木曾委員長>

産業建設でお願いします。

<苗村副委員長>

大井会場で、大井の人口や納税額を聞かれた。開催する地域の基本的な資料や出て

いる要望を事前知っておく必要があるのではないか。

<木曾委員長>

人口等を質問する人はそういないが、全協で班に分かれた時に、各地域の課題を把握すべきことは伝えなければならない。それを把握してから会場に臨むことが大事。亀岡市民の代表として行くからには、それぞれの議員が行く覚悟を持つべきである。広報広聴ではそこまで対応できないので、個々の議員が地元議員に確認する等の対応をするべき。亀岡の市会議員であって、地元の市会議員ではないという意識を変えなければならない。全協でまた話をする。

<事務局>

次々回の議会報告会の日程について。今回の議会だよりに「次々回の日程」を掲載しなくて良いのであれば、3月定例会中か、2月に臨時会が開かれるなら、その段階で決定するので良いと考えるがどうか。

<井上委員>

次々回の日程までは良いと考える。

<木曾委員長>

それで良いか。

—了承—

<木曾委員長>

5月頃の開催となるので、臨時会か3月定例会の時に決定する。臨時会が開かれるならば臨時会の時の方が良い。だよりの臨時会号は発行されるのか。

<事務局>

内容による。

<木曾委員長>

今回は21日である。21までに取りまとめていただくということで良いか。

—了承—

<木曾委員長>

その次は12月27日、年明けは1月16日である。予定を。

散会 ～12:05